

2024年度

# 東海支部活動と本部/他支部の動き

東海支部 トヨタ車体 上田

## 4.25 東海支部 シンポジウムが開催

愛知地区担当副世話人：トヨタ車体 上田 寛  
愛知地区行事担当会社：トヨタ車体 寛

QCサークル東海支部  
**シンポジウム2024**  
主催：QCサークル東海支部 後援：QCサークル本部 (一財)日本科学技術連盟

**開催テーマ**

Mission (目的意識)  
お客様志向の変化に合わせたQCサークルを考える  
～中期計画元年として基盤固めの始まり～

Vision (目指す姿)  
価値観の多様化や激動の環境変化に対応し、  
社会に新しい価値を提供し続ける

Value (価値観・行動指針)

**第一部 ワークショップ**  
「これからのQCサークルを考える」  
・東海支部の中期ビジョン  
・ワークショップ  
・発表

**第二部 支部・地区交流会**  
・OneTeamで相互研鑽  
・運営の普及・啓発の加速

日時：2024年 **4月25日(木)**  
受付9:00～ 第一部 9:30～16:50 第二部 17:00～18:30

会場：尾張一宮駅前ビル **7F シビックホール** Tビル HP

対象：支部/地区の役員、事務局、幹事(経験1年以上)  
普及拡大に向け効果的・効率的な運営を加速させたい方

参加費：2000円/人



QCサークル東海支部は、(一財)日本科学技術連盟の後援によりQCサークル活動(小企業改善活動)推進に  
志のあるトヨタ系企業や大学などに有志の方々で組織されています。(財団別団体)

### 東海支部 ビジョンの理解



### ワークショップ



**本部・支部・地区の役員/幹事の垣根を越えた活発なディスカッションが行われ、  
支部方針達成に向けPDCAを回す環境整備を整えることができた** 赤塚支部長メッセージより

# ワークショップからの支部への提案について

テーマ1		3) 支部地区対応案	
1) 「今」のお客様(幹事会社、地区支部の団体)のニーズは何か	2) それに対して、地区支部がやるべきことは何か	⇒ ご担当へ支部長会社(幹事長)の対応案として関係者へ確認する(対応案の実施可否の検討ではなく、対応案に対する見解を求める)	
ニーズに応える 行事企画・運営	・人財育成	地区	研修への反映を検討
	・地区内のエリアごとに大会・研修を実施	地区	研修への反映を検討
	・同業企業種の発表会	行事企画WG	総合交流大会などの内容見直しに合わせて検討
		支部・地区	既にある地区間交流派遣ルールのリマインド 【WGでリマインド済】
テーマ2		3) 支部地区対応案	
1) QCサークル活動のセールスポイントは何か	2) それを理解してもらうための施策は何をやるべきか		
(不明)	・ JHS普及拡大に向けたニーズの提示 ・ ニーズを具現化する方策検討の取りまとめ	普及拡大WG、サブWG	実施の検討
・ 幹事のスキルアップ(リーダーシップ・コミュニケーション力) ・ 職員のスキルアップ	・ 他支部との交流(フェイスブックなどのSNSの活用)	普及拡大WG、サブWG	実施の検討
(不明)	・ 幹事会社への勧誘への同行	支部	今後支部として検討(全国正副幹事長会議で提案など)
(不明)	・ 普及拡大するターゲットを絞る	支部	要望あれば出していただく
(不明)	・ IT、DXを活用できる商品開発とアピール	普及拡大WG、サブWG	実施の検討
・ 研修・大会終了後の修了証の発行	・ 研修・大会終了後の修了証の発行	?	?
・ 社会貢献 ・ 企業への貢献 ・ 新人への改善教育 ・モチベーションの向上	・ 各地区で使っている資料(説明用)の作成	支部・地区	既に発行している地区もあるのではないか(必要性検討要)
普及拡大		地区	普及拡大のためのパンフレットは支部として昨年度作成済。地区ごとの特徴については各地区で作成

## ■森世話人

議論した内容を反映させ、東海支部として同じ方向に向いて進めて行きたい

## ■大村幹事長

方針を支部地区のWGでそれぞれ議論しているが、シンポジウムのアウトプットも加味しながら進めていく。

(5月21日 幹事長会議にて)

テーマ3			
1) 「今」のお客様(幹事会社、地区支部の団体)のニーズは何か	2) それに対して、地区支部がやるべきことは何か		
(対策したい困りごと、できる)			

# 7.18 東海支部 選抜大会 が開催された

**QCサークル東海支部**

**第54回 QCサークル本部長賞 東海支部選抜(運営事例)大会**

・全日本選抜QCサークル大会に出場する東海支部の代表サークルを選抜  
・運営事例を通じて活動の活性化とサークルの成長のヒントを提供

主催:QCサークル東海支部 後援:一般財団法人日本科学技術連盟QCサークル本部

**テーマ** 多様化、環境変化に適応したQCサークル活動(小集団活動)で、継続的な人財育成と職場活性に努めよう!

**開催日** **2024. 7/18 (木)**  
9:15~受付 9:30 開会 17:20 終了  
※オンデマンド配信: 7/19(金)~ 8/19(月)

**募集人員** 会場: 400名(定員達次第締切)  
オンデマンド配信(人数制限無し)

**参加費** ◆会場聴講: 5,500円  
(昼食、オンデマンド聴講の費用含む)  
◆オンデマンド聴講のみ: 5,500円

**特別講演(会場聴講の方のみ)**  
パラリンピック アルペンスキー  
日本代表 チェアスキーヤー  
   
森井 大輝 様 鈴木 猛史 様

**会場案内**  
愛三文化会館  
愛知県大府市明成町一丁目330番地  
(JR共和駅 西口より徒歩10分)  
HP: <https://www.obu-kinrou.com>  
●駐車場に限りがございます。  
公共交通機関のご利用に  
ご協力をお願い致します。

**大会申込方法**

**大会申込URL**  
<https://forms.office.com/r/v01BmqjSzE>

**お問合せ**  
東海支部選抜大会事務局  
カヤバ株式会社 人財育成センター  
は 聡志(ツジ サトシ)  
TEL: 0574-26-6525 FAX: 0574-26-1231  
Mail: [tuji-sat@kyb.co.jp](mailto:tuji-sat@kyb.co.jp)

**申込締日**  
**2024年6月28日(金)**

支部HP 

※新型コロナウイルスの感染状況等により内容等が変更になる場合もありますので予めご了承下さい。

運営事例発表15サークルより4サークルを最優秀賞として選出した。

地区	会社名	サークル名	発表テーマ名
三重	トヨタ車体株式会社 いなべ工場	かじり蟲	成長につないだ2年間のみち ～個性を伸ばし、つまみ食いから完食・おかわりへ～
愛知	トヨタ自動車(株) 本社工場	地球にやさしいSP	一台のクルマをつくるように笑顔をつくろう
岐阜	岐阜車体工業株式会社	ぶらっしゅ・あっぱ	「大作戦でシン化！」 楽しみながら復活したサークルの歩み
愛知	トヨタ車体株式会社 吉原工場	トライ	誰でも活躍できるサークルを目指して ～凡事徹底: 安田と歩んだQCリーダーの挑戦～

**愛知地区の皆様には運営面にも協力いただき  
誠にありがとうございました  
★25年度は【愛知地区】が行事を担当**

# 9/19 東海支部 チャンピオン大会×60周年記念行事

QCサークル東海支部

## チャンピオン大会

・東海支部4地区から選り抜かれた代表事例の東海支部チャンピオンを決定  
・各事例の優れたポイントを皆さんの耳と目と心を通して学んでみませんか

主催：QCサークル東海支部 後援：一般財団法人日本科学技術連盟QCサークル本部

**テーマ** 東海地区の仲間のニーズに応えるQCサークル活動（小集団改善活動）を追求していこう！

**開催日** 2024/9/19（木）  
9:15～受付 9:45開会 16:30終了  
※オンデマンド配信：9/20（金）～10/21（月）

**会場** 第一会場 400名 第二会場 100名  
◆会場聴講：5,500円/人（昼食、オンデマンド視聴の費用含む）  
◆オンデマンド視聴のみ：5,500円/人

**参加費**

※会場聴講を申込される場合は、会場収容人数の関係により早めに打ち切る場合がございます。  
申込多数の場合は申し込み順で対応させて頂く場合がございますのでご了承ください。

招待発表	会場案内
<b>【製造運営事例】</b> トヨタ自動車株式会社本社工場 Meisterサークル	<b>愛三文化会館</b> 愛知県大府市瑞成町一丁目330番地 （JR共和駅 西口より徒歩10分） HP： <a href="https://www.sbu-kinrou.com">https://www.sbu-kinrou.com</a>
<b>【JHS運営事例】</b> 株式会社セキソー それなり。サークル	●駐車場に限りがございます。 公共交通機関のご利用に ご協力をお願い致します。

大会申込方法

**大会申込URL**  
<https://forms.office.com/r/1ZxVZ8hMwP>

**大会申込**  
2024年8月30日（金）

**お問い合わせ**  
東海支部チャンピオン大会 行事担当  
シャブコ岡 亀井 聡（カメイ）  
TEL：070-1488-6273  
Mail：satoshi\_kamei@

## QCサークル東海支部 60周年記念行事企画（案）

- 2023年度の目標：60周年記念行事の企画を立案、承認を得る
- 東海支部創立日：1964年（昭和39年）9月29日  
2024年（令和6年）9月29日に創立60周年を迎える
- 行事实施項目（案）：
  - 記念祝賀会（案） 2024年 チャンピオン大会（愛三文化会館）の後  
支部・地区役員・幹事、OB、来賓 計100名程度
  - 記念誌発行 配布方法は検討する

東海支部が創立60周年、これまでの活動の振り返りと  
次の時代に向けた式典を同時開催、記念誌のWEB配信

2024年度QCサークル本部

## 第1回QCサークル委員会・本部幹事会合同会議

日時:2024年8月2日(金) 東海支部は森世話人が参加

- ◆各支部の課題と着目すべきポイント
- ◆2025年度本部方針(案)
- ◆……

注) 前回の報告(2023/1/6)から変更、追加になった部分をブルーで追記してください。

QCC委員会(2023/7/28)において各支部の最重要課題につき議論いたします。審議を要する課題を原則一つ◎を記入してください。

↓ 区分には、緊急課題の場合はAを、長期的課題の場合はBを、懸案事項の場合はCをご記入ください。

↓

支部	課題 (1つのセルに1項目をご記入ください)	最重要 課題	区分	対応 (どのような対応をされたか、またはする予定かをご記入ください)
東海支部	1.多様で変化するニーズに応える行事企画・運営		B	1.お客様のニーズと活動への満足度のデータ把握 ・幹事(お客の視点で検討)に希望する「大会内容」をアンケート調査(審査の無い大会?推進者事例?分野分けの有無?アトラクション?など)および各地区の普及活動からの情報を用いて検討する 2.ニーズの変化と時代に応える支部行事へと改革トライ ・本部の大会内容変更(グランドチャンピオン大会)を受けて、支部の大会(支部選抜大会、チャンピオン大会、総合・交流大会、交流の場、経営者フォーラム)の開催月を地区の大会の実情を鑑み最適化するとともに行事内容も検討する
東海支部	2.従来の枠に拘らない普及拡大(参加者、幹事会社)	◎	B	【普及拡大】 1.過去の経営者フォーラム参加実績よりアプローチすべき団体の精査(地区と協業し役割分担明確化) 2.経営者フォーラムの刷新(行事企画WG連携) ・イベントの中身/手段の見直し ・単一イベント以外の宣伝方法の検討 3.発信力の強化(上記と連動して) ・支部HPの有効活用と発信ネタの企画(大容量サーバー活用の検討も含め) 4.モデル団体(組織)の検討と具体的なサービス検討 5.OBを活用した支援体制の概案整備 【幹事会社の維持・拡大】 1.候補企業の選定と窓口リスト整備
東海支部	3.幹事業務の効率化継続と幹事レベルアップ強化		B	1.行事運営業務の標準化と非付加価値業務の効率化促進 ・3つ支部大会の準備に関して、「行うべき準備項目・タイミング・役割分担・依頼書類」を時系列にまとめ、標準化する 2.幹事の新知見学びの場の創出 ・幹事に希望する「知見」をアンケート調査し、具体的な案件を抽出するとともに、来年度支部シンポジウムへ反映する

## 各支部(地区)活動における最近の課題と対応

注) 前回の報告(2023/1/8)から変更、追加になった部分をブルーで追記してください。

QCC委員会(2023/7/28)において各支部の最重要課題につき議論いたします。審議を要する課題を原則一つ◎を記入してください。  
 ↓ 区分には、緊急課題の場合はAを、長期的課題の場合はBを、懸案事項の場合はCをご記入ください。

支部	課題	最重要 区分	対応
北海道支部	★【改革元年:新中期計画(2021~2023)を踏台に、24年度より半年度方針に転換】 1. 各種行事の活性化(企画・実行)	A	【24年度】(1)支部主催の大会・研修会の活性化 ⇒ <u>広く全道からも参加しやすい企画・運営</u> (2)各地区主催行事の活性化 ⇒ <u>参加しやすい環境作り…「寄り添った」企画(ハードル下げ)、初の道北(奈井江)開催</u> (3)参加者の意見吸い上げ・反映の改革(FORMSアンケート等活用)
北海道支部	2. 持続可能な支部運営・体制構築	◎ A	【24年度】(1)支部運営におけるDX活用等の加速・推進 ⇒ <u>大会受付のバーコード化、準備進捗の見える化等</u> (24年度最初の大会からトライ開始) (2)支部運営・役割分担等の体制検討 ⇒ <u>負担分散(広く幹事会社に分散試行)、効率化、スリム化</u> 等 (3)役員幹事のスキルアップ ⇒ <u>★苫小牧・千歳地区は24年度QC手法研修会・ミニ発表会等行事を全て見送り、「QC7つ道具オンデマンド教材」作製を、幹事全員で7グループに分け分担作成中!</u> (能力向上と足元固め!)
北海道支部	3. QCサークル活動の裾野拡大	A	【24年度】(1)行政・各種企業・団体へのPR推進 (2)本部・他支部との更なる連携強化 ⇒ <u>本部「活動企業・組織の拡大～仲間を増やす活動～」活用</u> 等

・ 広く参加しやすい企画運営、ハードル下げる企画  
 ・ 運営でのDX活用(負荷分散・効率化・スリム化)

## 各支部(地区)活動における最近の課題と対応

注) 前回の報告(2023/1/6)から変更、追加になった部分をブルーで追記してください。

QCC委員会(2023/7/28)において各支部の最重要課題につき議論いたします。審議を要する課題を原則一つ◎を記入してください。  
 ↓ 区分には、緊急課題の場合はAを、長期的課題の場合はBを、懸念事項の場合はCをご記入ください。

支部	課題 (1つのセルに1項目をご記入ください)	最重要 課題 区分	対応 (どのような対応をされたか、またはする予定かをご記入ください)
東北支部	幹事会社の減少及び役員、幹事の後継者不足	B	地区活動の枠を越えた支部活動の強化で後継者育成と仲間づくりの推進 ①役員及び幹事の固定化と高齢化(宮城地区)リコーインダストリー東北事業所、TMEJ大衡工場幹事への再要請。 ②新規幹事会社や、サポート幹事の加入 & 追加促進 *なかなか上手く進まないのが実情・賛助会員からの運営支援を頂いている。 (山形・秋田地区、福島地区、宮城地区) サポート幹事会社から幹事会社への格上げを目指す。 *(山形・秋田)TDKエレクトロニクスファクトリーズ、(福島)コマツ製作所郡山工場への要請 ③福島地区に於いて日産いわき工場とデンソー福島が幹事会社となり牽引し、賛助会員会社が活動支援。 ④支部運営担当区分を、青森・岩手、山形・秋田、宮城・福島とし、役割を総会・会計、役員・監査、大会、研修会の3分割に集約し1年周期の輪番制に見直した。 ⑤JHS部門の活動普及と大会参加の促進。(HS同業種交流会、改善事例情報交換会等の25年支部主催を立案、計画検討) ⑥役員・幹事能力の向上(マニュアル作成による各役割の意識付け) ⑦役員/総会等でやるべき事を次世代(後継者)へ引き継ぐ為に明文化する。(24年支部総会、支部総合大会で活用) 具体的には、支部業務を時系列に記録しを残していく方法。(「大会業務」・「支部役員業務」・「総会業務」等) ⑧幹事、役員スキルUPを意識した、大会運営(24年支部総合大会講評者6命中5名が初経験)
東北支部	仲間を増やす活動の展開 (幹事会社、サポート幹事会社 賛助会員会社、聴講参加 企業など)	A	①官庁、県工業クラブ、振興局、大学・技術学校等への声掛けとPR活動継続。(各地区単位で実施) ②個々の企業ニーズに対応し、QC活動の出前研修継続。(山形・秋田地区、宮城地区、青森・岩手地区) ③地区発表大会の共同運営(宮城・福島地区)、また大学生、高校生の招待。(山形・秋田地区)(青森・岩手地区) 引き続き、産(関係/外郭団体)、官、学との連携、関係性を深める活動継続。 ④支部業務の3ブロック制の運営体制づくり(山形秋田地区/青森岩手地区/宮城福島地区の3ブロック) 地区業務も幹事会社で分業体制を実施していく。

・ 幹事会社減少/役員幹事の後継者不足  
 ・ 個々の企業ニーズに対応した出前研修

## 各支部(地区)活動における最近の課題と対応

で追記してください。

QCC委員会(2023/7/28)において各支部の最重要課題につき議論いたします。審議を要する課題を原則一つ◎を記入してください。  
 ↓ 区分には、緊急課題の場合はAを、長期的課題の場合はBを、懸念事項の場合はCをご記入ください。

支部	課題 (1つのセルに1項目をご記入ください)	最重要 課題	区分	対応 (どのような対応をされたか、またはする予定かをご記入ください)
東北支部 (青森・岩手地区)	QCサークル青森・岩手地区 小集団改善事例発表 大会発表参加サークル数の増加推進		B	<ol style="list-style-type: none"> <li>官公庁、工業クラブ、学校にPR活動の継続。</li> <li>北上市役所へ訪問しQCC活動PR展開結果、協力・支援をいただき特別賞(北上市長賞)+今年は記念品を贈呈 →4月にご挨拶と「北上市長賞」を継続して頂ける様に伺い、今年も継続して「北上市長賞」を授与。(了承を得ています)</li> <li>23年は聴講者参加型の大会を意識した内容での実施。</li> <li>岩手県県南広域振興局 副局長様及び北上市副市長様に来賓として参加いただき、県知事賞、特別賞授与していただく 県庁、市役所関係者計10名程参加していただきました。</li> <li>青森工業会へ研修会等のアンケート実施。(関心度低い)</li> </ol>
東北支部 (山形・秋田地区)	幹事会社、賛助会員企業数の減少(山形幹事会社なし)		B	<ol style="list-style-type: none"> <li>山形県県庁(商工労働観光部)、山形県工業会、経営者協会に賛助会員加入の働きかけの協力を頂いている。 ・県庁、経営者協会:定期発行のメールマガジンにてPR ・県工業会:行事案内の開催都度、会員へのダイレクトメールの許可を頂く。 24年秋田小集団改善事大会は横手市長賞が授与される。</li> <li>賛助会員企業に山形県の核となる企業・団体の勧誘を行っていく。 …ヤマザワさんに打診したが会社諸事情により断念。引き続き勧誘を図る。</li> <li>幹事会社2社(日立Astemo、由利工業)内の役員輪番制検討による負担軽減</li> <li>23年9月から秋田のTDKエレクトロニクスファクトリーズ㈱が賛助会員からサポート幹事会社に就任。 5月秋田エプソン訪問トップ面会での賛助会員交流会場所と活動協力依頼。</li> <li>デジタル技術を活用しオンライン併用など運営方法を改革し、気軽に参加出来る体制を作り賛助会員数を増やしていく</li> </ol>
東北支部 (宮城地区)	・幹事会社と賛助会社拡大(宮城幹事会社なし)		B	<ol style="list-style-type: none"> <li>賛助会員、幹事会社拡大の取り組み ・賛助会社(航空自衛隊松島基地)と情報交換⇒基地内発表大会への審査・講評の支援活動展開 ・賛助会社拡大に向けた企業訪問(迫リコー・ワールドインテック)・東北紙工(株)グリーンテック訪問</li> <li>地区長会社担い手作りの取り組み ・賛助会社情報交換会の開催⇒トヨタ自動車東日本(株)本社大衛工場にて開催(5月20日) ・賛助会社から幹事会社就任に向けた情報交換⇒正副地区長でトヨタ様と情報交換(5月20日) &lt;リコーインダストリー(株)/トヨタ自動車東日本(株)&gt;</li> <li>発表大会の活性化への取り組み ・ビギナーサークル発表大会の開催に向けた活動展開⇒ビギナー向け発表会に向けた企業訪問 ⇒応募"0"社&lt;中止&gt;[課題と対策]賛助会社交流会の企画検討/発表大会への聴講参加声掛け(訪問)</li> <li>産学官連携の取り組み検討 工業系高校教諭・生徒への大会聴講への働き掛け⇒2024年度地区大会の情報提供に繋げる</li> </ol>
東北支部 (福島地区)	サポート幹事会社減少による役員の負担増			<p>・県庁・工業会・経営者協会に会員加入働きかけ ・ビギナー大会の開催に向け企業訪問</p>

この部分をブルーで追記してください。

QCC委員会(2023/7/28)において各支部の最重要課題につき議論いたします。審議を要する課題を原則一つ◎を記入してください。

↓ 区分には、緊急課題の場合はAを、長期的課題の場合はBを、懸念事項の場合はCをご記入ください。

支部	課題 (1つのセルに1項目をご記入ください)	最重要 課題	区分	対応 (どのような対応をされたか、またはする予定かをご記入ください)
関東支部	支部中期改革課題の見直し、展開		B	①中長期の観点で「関東支部ミッション、ビジョン、バリュー」を策定して、下記基本方針のもと推進、展開中。 <支部のミッション>QCサークル活動(小集団改善活動)で志・意欲を高め 企業発展に貢献する。 (1)経営者層に支持される組織(QCサークル活動への企業経営者層の更なる理解向上、幹事会社・幹事への経営者層の理解・支援の向上) (2)地区共通の課題への対応、及び地区固有の課題への支援(地区共通の課題抽出と対応、実働可能な幹事会社・幹事減少への対応としての負荷削減) (3)地区役員・幹事高齢化に伴う、若手幹事の育成・能力向上(若手幹事の育成・能力向上に向けた幹事対象研修の継続) (4)Withコロナ/Afterコロナ新常态への対応及び軌道修正(新型コロナウイルスのQCサークル活動への影響と対応)
関東支部	幹事会社数・幹事数減少、行事参加会社数・参加率の伸び悩み、支部・地区運営体制の維持		B	①11年度 131社/203名、12年度 126社/201名、13年度 120社/201名、14年度 122社/201名、15年度 124社/202名、16年度 129社/204名、17年度 123社/207名、18年度 128社/216名、19年度 118社/206人、20年度 113社/190名、21年度108社/192名、22年度107社/167名、23年度107社/157名と幹事会社数、幹事数共に全体的に減少傾向。行事参加会社数・参加率も伸び悩んでいる。 ②従来からの勧誘活動によりなんとか減少傾向を押さええているが、支部・地区活動の活性化のためには更なる増が必要。 ③各地区の幹事会社・会員会社勧誘活動における勧誘資料として”経営者は語る”という小冊子を作成して、各地区へ配布。QCサークル活動・TQMに関心のある各地区の経営者を集めた経営者フォーラムを原則2年に1度開催。 ④地区長会社、支部長会社の依頼が困難になるケースが出てきており、地区・支部で実施している事項の必要性、及び連合体制への移行を含む支部と地区の役割分担の見直しを行っている。
関東支部	運営事例、JHS改善事例の掘り起こし		B	①2024年度(2024年7月開催)の運営事例選抜大会は、5サークルのエントリー(2018年度10サークル、2019年度11サークル、2020年度6サークル、2021年度10サークル、2022年度4サークル)。 ②運営事例中の個別改善事例を1件とした発表パターンでも良いことをアピールしながら、各地区への働きかけを継続していく。また、運営の工夫への理解を深めてもらうために、改善事例の評価表の運営部分の配点を従来より大きくした。 ③2023年度(2024年2月開催)の改善事例チャンピオン大会JHS部門は、6サークルのエントリー(2018年度8サークル、2019年度9サークル、2020年度4サークル、2021年度6サークル、2022年度6サークル)。 ④改善事例の評価表をJHSにも適用が容易なように表現を修正した。
関東支部	Withコロナ/Afterコロナ新常态への対応及び軌道修正		B	①支部企画委員会、幹事会等をオンラインで実施。経営者フォーラム、幹事研修会等をハイブリッドで開催。 ②関東支部チャンピオン大会と運営事例選抜大会を会場と録画のオンデマンド配信を組み合わせで開催。 ③幹事会で各社・各地区での困りごとやそれに対する他の地区からの改善提案、好事例を収集し、共有している(9月、11月の幹事会で時間をとって議論している)。

- ・JHS向けの改善事例の評価表見直し
- ・各地区困り事に対する改善提案と好事例共有

注) 前回の報告(2023/1/6)から変更、追加になった部分をブルーで追記してください。

QCC委員会(2023/7/28)において各支部の最重要課題につき議論いたします。審議を要する課題を原則一つ◎を記入してください。

↓ 区分には、緊急課題の場合はAを、長期的課題の場合はBを、懸案事項の場合はCをご記入ください。

支部	課題 (1つの上には項目をご記入ください)	最重要 課題	区分	対応 (2つの上には項目をご記入ください)
北陸支部	中小・小規模企業および製造業以外への普及・拡大			<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県経営者協会、富山県新世紀機構「よろず支援拠点」との三位一体活動により改善活動の支援</li> <li>・医師会・看護協会等の講演をいただき医療・福祉分野への普及拡大</li> </ul>
北陸支部	支部・地区での発表会への発表サークルの減少			<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山地区を中心に開催しているミニ発表会を他の地区への展開・拡大</li> <li>・ミニ発表会での発表に向けた資料作りへ、および、問題解決のステップ、手法の使い方のアドバイス・支援</li> </ul>
北陸支部	幹事育成の実行プログラムの策定			<ul style="list-style-type: none"> <li>・支部にて新人幹事育成のための研修会の開催</li> <li>・中堅幹事を対象に、幹事および自社推進員の求める姿に到達するための研修会の開催</li> </ul>
北陸支部	会員会社及び幹事会社の減少防止と拡大 (各社経営トップからの支援強化)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・支部・地区が一体となった取り組みの具体化と行動の実施</li> <li>・各社経営トップへ支部・地区活動ご理解のための取り組み (経営者フォーラムの見直し)</li> </ul>
北陸支部	幹事会社・事務教の負担提言			<ul style="list-style-type: none"> <li>・支部長会社・地区長会社の業務負担軽減のためのIT化 ……年度ごとの引継ぎ業務軽減など</li> </ul>
北陸支部	JHS部門での発表事例の減少 (富山地区以外ではJHS発表会を実施していない)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹事会社を中心とした事例の掘り起こしと発表会の仕掛けの早期化(4地区全てでのJHS発表会の実施)</li> <li>・医療・福祉分野の事例のJHS発表会での発表の要請 (従来はミニ発表会での発表のみ)</li> </ul>

- ・ 県の経営者協会など三位一体での改善支援
- ・ 中堅幹事を対象に各社の求める姿に到達する研修会

## 各支部(地区)活動における最近の課題と対応

注)前回の報告(2023/1/8)から変更、追加になった部分をブルーで追記してください。

QCC委員会(2023/7/28)において各支部の最重要課題につき議論いたします。審議を要する課題を原則一つ◎を記入してください。

↓ 区分には、緊急課題の場合はAを、長期的課題の場合はBを、懸案事項の場合はCをご記入ください。

支部	課題 (1つのセルに1項目をご記入ください)	最重要 課題	区分	対応 (どのような対応をされたか、またはする予定かをご記入ください)
九州支部	支部長幹事会社担当会社負担の低減	◎	A	<p>※本部への情報システムへの要望:メニュー画面に以下4項目の機能追加希望</p> <p>①名簿登録・更新 (各支部・地区が直接入力)</p> <p>②一括管理データ登録・更新 (各支部・地区が直接入力し登録完了)</p> <p>③本部への日当請求 (世話人・副世話人が直接入力し、本部に申請)</p> <p>④本部負担行事講師連絡 (各支部・地区が直接入力) ⇒支部行事計画立案業務の分担や社外化検討</p> <p>⑤企画会議を重ねて標準化(場所・マニュアルなど)</p> <p>⑥外注化(東海支部大山世話人の紹介あり)</p>
九州支部	支部・地区間合同会議のあり方再考		B	<p>※負担の削減、業務の効率化を進めるが上に以下の課題(悩みの声)がある。</p> <p>①行事計画(決定事項)の報告が主となり、議論の時間が少なく、腹落ちできないままとなっている。</p> <p>②面着(Gr討議など)での議論の場も少なく、遠方会社幹事/新人幹事においては出席での得るものが少ない。 ⇒今後、支部/地区幹事/正副世話人にてあり方を再考する。⇒9/6(水)世話人会合実施…その後支部企画会議議論活発化</p>
九州支部	仲間を増やす活動			<p>①経営者フォーラムなどの検討(本部に協力依頼)</p> <p>②減らさない活動(幹事会社の上司にお礼など愛知地区世話人講話参考)</p> <p>③新しい時代を鑑みたQCC+AI・DXについて</p>

- ・支部・地区会議の在り方
- ・仲間を増やす活動、新しい時代のQCC+AI・DXについて

# 2025年度 QCサークル本部方針(案)

## 2025年度 QCサークル本部方針 (案)

資料1

2024年8月2日  
QCサークル本部

### 【QCサークル活動（小集団改善活動）スローガン】

QCサークル活動（小集団改善活動）により、  
日本全体の“仕事（業務）の品質／質”のダントツ化を図ろう！

### 【QCサークル活動（小集団改善活動）基本方針】

1. QCサークルのリーダー・メンバーは、チームワークで仕事の達成感と自己成長を図る！（人間力）
2. リーダーは、より高い目標に挑戦するリーダーシップを発揮する！（仕事力）
3. 管理者・監督者は、QCサークル活動支援を職場マネジメントの主要事項として行う！（職場力）
4. 推進事務局は、全社一丸となったスピード感あふれる改善活動の活性化のために新しい施策を企画する！（組織力）
5. 経営者は、経営に資する全社TQM推進の一環としてのQCサークル活動（小集団改善活動）の強化を図る！（経営力）
6. 地域の企業・組織との連携を図る！“仲間づくり”

### 【QCサークル本部 2025年度重点取組事項】

1. 本部・支部・地区の連携の更なる強化、支部・地区の柔軟な組織づくり、行事等運営方法の弾力化・合理化ができるよう、「QCサークル本部・支部規定」「支部・地区活動運営のしおり」等を見直す。  
→「運営改革プロジェクト」答申を踏まえ、より柔軟で合理的な運営の実現のための検討と改訂を行う。
2. DXの考え方、ICTツールの活用により、本部・支部・地区の作業・事務工数を削減・効率化する。  
→現状把握（何に工数を要しているのか、その他の問題・課題等）を行った上で、その解決に向けて、全体的な仕組みの変更、新たなシステムの構築、必要に応じて規定、基準の見直しを行う。
3. 支部・地区における行事（大会、研修会等）の運営等の負担を軽減するための支援を行う。  
→一般対象研修会の日科技連への移管、幹事研修の共通部分を日科技連が提供する等により、支部・地区の負担軽減につなげる。
4. 本部（含む日科技連等）をはじめ各支部・地区が保有している各種情報（含む過去の答申類等）、ベストプラクティスを共有し、利活用できるようにする（情報交換システム【支部・地区運営自慢】等活用）。  
→情報共有システムを見直し、ライブラリー化（検索機能付き）を検討する。
5. 仲間を増やす活動に利活用できるように、活動企業勧誘や組織拡大に役立つ企業情報を個人情報保護法に則って収集し管理する。  
→情報収集・利活用のシステムを見直し、本部としてD/B化する。
6. 本部主催大会を計画的かつ効果的に開催する。  
→全国大会（5大会）、JHSグランドチャンピオン大会、全日本選抜大会、洋上大学を計画的に開催し、効果を高めていく。
7. 活動環境の変化（コスト価値、就業構造変化、2024年問題への対応など）に対応し、活動方法を柔軟に、多様化して、活動の入り口を広げて普及拡大につなげ、活動自体もやりやすくして活性化をめざす。  
→大会を含めて、入りやすく、活動しやすく、参加しやすい活動、行事等にするための工夫を行う。
8. 支部と連携して、事務・販売・サービス部門【含む医療、福祉】や小規模企業への普及拡大と活動の促進をめざして、入り口の入りやすさと活動基盤の構築につながる働きかけの検討を継続する。  
→JHS-WG答申、「運営改革プロジェクト」答申に即して、提言の具体化を進める。

### 【支部・地区における基本的な取り組み例】

1. 地域の行政（公務）や教育機関、経営者協会等の経済団体、業界団体などと連携をとりながら、地域の特色を生かした発表会や行事、経営者・管理者向けフォーラム、コミュニティの開催などにより、経営者・管理者等へ、QCサークル活動（小集団改善活動）が経営成果、人材育成などにつながることへの理解活動、支援活動を展開し、QCサークル活動（小集団改善活動）活性化へ向けた継続的な取り組みを行う。
2. 本部と分担あるいは連携して、企業・組織の本社機構、経済団体、業界団体などへの働きかけにより、普及拡大、活動への参加促進の取り組みを行う。
3. 広く（含む公務）、企業・組織の会員加入・活動への参加、幹事会社の引受などを促進するために、新たな企業・組織だけでなく、既に幹事会社、会員（含む他支部・地区）となっている企業・組織の本社・他事業所、グループ企業（関係会社）への働きかけを行う（必要に応じて本部・他支部と連携）。
4. 地域の生活を支える医療・福祉団体、流通業界などと連携し、エッセンシャルワーカーをはじめ、業種・業態・組織規模などによって長時間に亘り職場を離れにくい方々の大会での発表、聴講参加の誘引を図るためのオンラインシステム活用を進める。
5. サービス業務（事務・間接・医療・福祉など）を中心とした組織に適した、多様で新しいやり方を取り入れ、参加意欲を促進する具体的な方法・ツールを開発・提案して、普及拡大、活動促進に取り組む（内容に応じて、本部と連携）。  
(注) 事務・間接には、開発・設計、企画・営業業務を含み、サービス業務には、卸・小売業、運輸業、宿泊・飲食業、教育・研修等の業務も含む。
6. QCサークル本部にて展開（2015～17年）した「小規模企業へのQCサークル活動（小集団改善活動）の導入・支援活動」資料（運用ガイドほか参考情報を情報交換システム「活動企業・組織の拡大～仲間を増やす活動～」フォルダーに格納済み）を活用し、QCサークル本部と連携・協力して、支部・地区の指導・支援体制を強化し、小規模企業の参加、活動基盤の構築につながるような働きかけを行う。
7. 大会等において、発表者、聴講者の参加形態の多様化、弾力化を図り、参加率を向上させるために、会場参加はもちろん、ニューノーマル化にも対応し、オンライン、ハイブリッド開催、オンデマンド配信等含めて、大会・行事のあり方と効果、企画・運営を工夫する。
8. 発表会等に伴う工場見学会／講演会などに、広く、地域等を越えて参加いただけるよう、ICTやオンラインツールを活用した企画・運営を工夫する。
9. 『QCサークル』誌が多くの企業・組織に必要とされ、活用されるよう、大会・研修会などで有用性を紹介するとともに、より一層効果的な活用方法を工夫し、広める。引き続き、2サークルで1冊購読をめざし、現場力（職場力）の更なる向上につなげる。
10. 支部・地区の役員・幹事等については、各支部・地区、会員企業・組織等の事情等に応じて、これまでも弾力的な取扱い等を行って、柔軟な役割分担や任期の設定等により負担を軽減しながら必要な体制を維持している支部・地区がある。また、地域の経済や社会基盤を支える中堅企業や医療・福祉・教育分野等の企業に対し、エリア（ブロック）幹事会社制度を設けて参加・協力要請を行い、活動企業の裾野を広げている支部・地区があるため、引き続き、各支部・地区の事情等に応じて多様な工夫等を行うとともに、必要に応じて本部と連携する（必要に応じて、本部・支部規定の見直し等が必要になることも想定）。
11. 支部長会社・地区長会社、幹事会社等の負担軽減のために、DXの考え方、ICT活用を前提に、必要に応じて本部と連携、協議して、業務の効率化、組織や行事等の運営の合理化を図る（本部・支部規定、情報交換システム等の運用基準の見直しが必要になる場合も想定）。
12. 上記の主な取り組みの他、本部・支部は密接に連携・情報共有し、e-QCC提言、JHS-WG答申、「運営改革プロジェクト」答申等に沿って、新しい時代が求めるQCサークル活動（小集団改善活動）の実現に取り組む。

基本的な方針は継続、第三次産業、中小規模企業の普及拡大に反映

# 日科技連・本部からの期待

【22/5 in札幌】

QCサークルが誕生して60年

QCサークル活動の基本理念

- ・人間の能力を発揮し、無限の可能性を引き出す。
- ・人間性を尊重して、生きがいのある明るい職場をつくる。
- ・企業の体質改善・発展に寄与する。

製造現場に根付き競争力・体質強化に貢献



モノからコトへ、主役は第三次産業へシフト

(労働人口の7割を占める)

近年のQCサークルに対する課題

- (1) 発表することが重点で成績狙いのワンパターン化  
賞が取れる企業とそうでないところのモチベーションの差
- (2) JHSの活性化が進まない
- (3) 幹事を引き受ける企業が減少  
大企業の製造業中心の体制では継続困難



全国を牽引する東海支部が変革し発信してほしい



佐々木 理事長  
日本科学技術連盟 理事長  
トヨタ自動車 元副社長

「障子をあけてみよ 外は広いぞ」



以上